

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・ 3月のリニューアルオープンに向けて、各百貨店とも売場の一部を閉鎖しながら営業している状態だが、売上は例年どおり推移しており、客の購買意欲は上向していることがうかがえる。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・ 近郊に大手百貨店が進出したが、商品強化を図った結果、新規顧客や大手百貨店帰りの顧客の獲得に成功し、売上が上向いた。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・ 他店のリニューアルによる悪影響も若干あるが、春物の動きを始め、全体に売上は好調である。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・ 高額商品の売上が上向している。 ・ バレンタインの売上は好調であった。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ ここ数か月、販売点数が前年比104%から105%で堅調に推移していたが、今月に入り、前年比108%と好調に推移している。
		スーパー（店舗運営担当）	来客数の動き	・ 来店客数が増加するとともに、1人当たり買上点数も0.6ポイント上昇している。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・ 引き続き客の財布のひもが固い状態は続いているが、値段に見合うものあるいはそれ以上の価値があると判断した商品は、多少値が張っても購入している。 ・ まだまだ競合店や長時間営業のスーパー等の影響で厳しさは残るものの、わずかだが景気回復の兆しはみえている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・ 季節商品の売上は非常に不安定だが、パソコンが堅調、大型テレビも多少波があるものの安定して売上が増加している。パソコン、大型テレビの底上げにより、全体的には前年より堅調に推移している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・ 自動車市場が前年を上回る売上を示しており、客の動きも活発になったと感じられる。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・ 販売機種がより小型化して、軽自動車の台数が増え気味ではあるが、全般に客の動きが良くなってきている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ 会社関係の予約が少しずつ増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・ 近郊で大型店舗の改装工事があり、工事関連の宿泊者が増加している。
		旅行代理店（営業担当）	来客数の動き	・ S A R S、鳥インフルエンザの影響がほとんどなく、好調に推移した。
		競艇場（職員）	来客数の動き	・ 今月初旬のタイトルレースや中旬の大規模なレースが開催され、来客数が増加した。
変わらない		商店街（代表者）	販売量の動き	・ 例年販売量が減少する時期であるが、今年は例年以上に単価、数量とも伸びていない。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・ 冬物最終セールは、値段を下げるだけでは購買に結び付いていないが、ピンクやブルー等の明るい色、いわゆる春色の婦人服を中心に、春物の売上が大幅に上昇しており、新しい物への反応は良好である。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・ 暖かいにもかかわらず、春物商品の動きが例年に比べて遅い。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・ 気温上昇により、春物商品の出足が昨年より1週間早く、前年比110%と好調に推移しているが、冬物商品最終処分、セール催事売上が前年比80%とともに振るわず、全体的には、前年並みとなっている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・ 来店客数増加を目指した価格競争により、客単価の前年割れが続いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ B S E、鳥インフルエンザの影響が出ており、畜産部門は非常に苦戦している。以前のB S E騒動の時は、代わりに水産商品が良く売れたが、今回はそのような動きもない。

スーパー（総務担当）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B S E、鳥インフルエンザによる輸入規制、客の肉類に対する不安や不信感、また国産牛の値上がりが原因で、売上が8%落ち込んでいる。</li> <li>・ 代替品としての魚類もあまり伸びておらず、豚肉の値上がりが売価に転嫁できないため、粗利が落ち込んでいる。</li> </ul>	
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3か月前に引き続き、客数は前年を上回り堅調に推移しているものの、ここ数か月は特に大きな変化は見られない。</li> </ul>	
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販売にはつながらないが、来店客は久しぶりに増加している。</li> </ul>	
衣料品専門店（地域ブロック長）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬物商品は値下げをしても動かないが、リクルートやフレッシュマン需要については、低価格ばかりでなくプロパー価格でのセット購入が見られる。春物商品の動きが、例年より早くなっている。</li> </ul>	
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節柄、礼服やフレッシュマン用スーツの売上が伸びる時期だが、例年ほど売上が伸びていない。</li> </ul>	
家電量販店（予算担当）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暖房用品が苦戦しているが、プラズマ・液晶・デジカメが好調なため、ほぼ前年と変わらない売上となっている。</li> </ul>	
家電量販店（店員）	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 客単価は上昇しているが、店舗全体の売上には、変化がみられない。</li> </ul>	
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年に比べ来店客が多少減少しているため、受注にはなかなか結び付いておらず、台替え期間が伸びてきている。</li> </ul>	
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規顧客、既存顧客とも、来店数が増加していない。</li> </ul>	
乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販売量前年比90%台の厳しい状況で推移し、新車台替時には現状より小型で安いクラスに変更する機会が増えている。</li> </ul>	
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相変わらず販売量は低水準にある。特にカービジュアル、カーオーディオ等の高額商品の動きが悪い。それに加えて、冬タイヤから夏タイヤへの履替え需要が例年より遅れている感じがする。</li> </ul>	
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 週末の個人利用の状況はまずまずだが、平日夜間の入客数は少ない状況が続いている。</li> </ul>	
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外旅行は、当初は前年比30%台で、その後50%台まで回復するが、それ以降はあまり盛り上がりがない。</li> </ul>	
タクシー運転手	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単価の安い仕事で回しており、全体的に収入が少ない。</li> </ul>	
タクシー運転手	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月くらいから前年比100%を超える状態が続いており、景気は底を打ったと思われる。</li> <li>・ 実質的な売上においては、増車などの影響で、横ばいが続いている。</li> </ul>	
通信会社（経営者）	お客様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加入契約数がここ数か月低下したままであり、また解約数も増加しており、純増の兆しが見えない。</li> </ul>	
テーマパーク（財務担当）	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園者は昨年に比べて1割ほど伸びているが、1人当たりの単価はかなり落ち込んでいる。両方を比較して、上向きなのか下向きなのか判断に困る状況である。</li> </ul>	
ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来客数、中でも県外客数が特に減少している。</li> </ul>	
その他レジャー施設 [温泉センター]（営業企画担当）	単価の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日帰り温泉部門は、女性客の増加や新規客の利用が目立ち、従来の客層とは変化が見られる月となった。その結果土日は前年を確実に上回るも、平日が弱含みで総入館数・売上ともに伸び悩むと同時に、客単価が下落したため、かなり厳しい営業となった。</li> <li>・ 温泉ホテル部門は、客動員を大幅に伸ばした前年を微増程度で上回り順調に推移しているが、やはり客単価の伸びが思うほど良くない。</li> </ul>	
設計事務所（職員）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、個人住宅向けマンションや1戸建住宅の新築が多く、ともに売れている。</li> </ul>	
住宅販売会社（経理担当）	販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高額物件については引き続き契約数が伸び悩んでいるが、低価な物件については順調に契約が進んでいる。</li> </ul>	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街への来街者数の減少とともに、加盟商店数も減少しており、余計に来客数が減っている。</li> </ul>

		商店街（代表者）	来客数の動き	・1月はバーゲンで好調に推移したが、2月に入ってから落ち込みが激しく、好調期が持続しない。
		一般小売店〔靴〕（経営）	来客数の動き	・2月に入り、店内に入る客が著しく減少し、店外から店内を見るだけの客が増加している。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・2月上旬の冬物最終セールまでは売上も好調だったが、20日以降、春物に切り替えた後は急激に売上が落ちた。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・特売品の販売数量が落ちている。余分な物は買わない傾向が出てきている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・バレンタイン商材は前年比20%増で、冷菓も天候与件で好調に推移したが、酒類の売上が25%減となり、飲料、米飯の売行きも悪く、全体として売上が落ち込んでいる。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	来客数の動き	・単価は前年並みで推移しているが、客数が減少している。
		家電量販店（副店長）	販売量の動き	・AV、白物、OAなどあらゆる部門で前年割れの状態である。例年は2月中旬から学需の動きが活発になってくるが、今期は目立った動きがない。 ・近隣の競合店でも同様の状況だと聞く。先月より更に状況は悪くなっている。
		住関連専門店（広告企画担当）	お客様の様子	・結婚の準備がぎりぎりまでされず、納期が非常に早い。必然的に単価が下がっている。少し待ったら安くなるという感じがあるのか、なかなか決定しようとしていない。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・3か月前と比べ、販売量、来客数とも減少している。
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が少ない上、不況感から、購買意欲が低い感じがみられる。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・3か月前より来客数が3%減少している。BSEによる米国からの牛肉輸入中止によって、取扱商品が減少していることが原因と考えられる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・駅、病院、夜の繁華街での待機時間が例年より長くなり、売上も例年より20%近く少なく、悪くなってきている。
		設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・仕事の発注予定がない。手持ち工事が少ない。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前まで、受注が好調に入っている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が特に豊富であり、仕事量が増加している。
		建設業（営業担当）	取引先の様子	・製造業の設備投資、ホームセンターなどの店舗出店計画による見積依頼が増加してきた。
		輸送業（統括）	受注量や販売量の動き	・例年スポット作業が多い月ではあるが、昨年と比べても、作業量、数量ともに多く推移した。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・消費が上向きで、物流の動きが活発になってきた。
		金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・最近発売された新車の販売好調を背景に、生産水準が高水準を維持しており、受注量は総じて前年比プラスで推移している。コスト削減要請が厳しく、受注単価は低下しているが、増収増益基調は維持している。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・賃貸関係の取引件数が増加してきている。 ・同業者に対する銀行からの貸し渋りがやや改善されている
	変わらない	化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・先月から大きな変化は無い。化成品などは先月と同じく横ばい。電子材料は半年毎に受注量の増減を繰り返している。セメント関係は引き続き厳しい状況である。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・中国を中心とした輸出需要に支えられ、販売が依然堅調である。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・国内への仕入商品の売上は引き続き伸び悩んでいる。 ・国内及び海外向けの自社製品の売上は好調に推移している。

		電気機械器具製造業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・液晶関係は、価格上昇、受注量の拡大が続いているが、ダイオード関係の価格低下が続いている。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	それ以外	・受注量については相変わらず好調を維持しているが、休日の昼夜フル操業でも対応できない職場については、外部委託を行うことになった。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・先月と同様に、海外関係は相変わらず好調が続いているが、国内消費は相変わらず伸び悩んでいる。したがって国内販売のみ生産している当社においては、受注は別注イージーオーダーだけが伸び、通常生産分は相変わらず伸び悩んでいる。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の製造業では上向いていると聞いているが、設備投資には向かっておらず、厳しい。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・求人広告がほとんどなく、あるのはアウトソーシングばかりである。山口県は今空前の派遣、業務請負に移行しつつある。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・取引先の状況より、現在、3か月前と比べて忙しいのは製造業と建設業くらいである。それも低単価で受注競争している状態であって、内容的には決して好調と言えるものではない。特に、建設業は昨年と比べて受注量の確保が非常に難しくなってきた。
		コピーサービス業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・年度末を目前に、受注量は前年比で微減となっている。
	やや悪くなっている	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上、受注とも3か月前と比べ、やや減ってきている。
		通信業（営業企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・法人向け通信需要は、高速安価なVPN（仮想専用線）商品の引き合いが増加傾向にあるものの、大半は既存専用サービスからの乗換えであり、市場の拡大や売上増には結び付いていない。このため、固定系通信事業は予想以上に減収状態が継続しており、下げ止まりの見通しが立たない。
	悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・3か月前と比べ、水揚げ数量で3,800トンの減少、水揚げ金額でも3億5,200万円の大幅減少となっている。シケが多く、越前クラゲのために沖合底引き船、巻き網船、定置網漁、イカ釣り漁が減少したためである。特に、イカ釣り漁はほとんど水揚げがなく、定置網もシケとクラゲのため、網を上げている状態であった。
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（支店長）	求人数の動き	・パート、アルバイト、正社員など全般的に求人をとする会社の数が増えている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・高い技術や前向きな人材のニーズは上昇中であり、単価も上がってきている。一方、労働集約的な職種は従来どおりのニーズがあるが、単価はまだまだ下がっており、二極化がはっきりしてきている。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・求人数は伸びているが、正社員の求人には慎重さがみえる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人数は前年同月比で3か月連続の増加となった。新規オープン予定のホテルから大量の求人があった。 ・月間有効求職者数は前年同月比で4か月連続の減少となった。
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・製造業を中心に、より高い技能、経験を望むことに変わりはないが、条件緩和をしてくる企業も以前より増えてきている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人件数が伸びており、当面は順調に推移していると言える。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・メーカーは上向いているが、サービス産業、中小零細企業は悪化してきており、二極化が明確に進んできている。
変わらない		新聞社〔求人広告〕（広告営業担当）	求人数の動き	・求人数の動きには変化がない。広島市内の一部では、大型店出店により求人数が一時的に上向いているものの、全般的にはまだまだの状況が続いている。
		職業安定所（職員）	それ以外	・年度末に向けた、建設業、警備業の臨時求人の大幅な増加や、製造業での業務請負の求人の増加があった。 ・全体では、欠員補充の求人が主であり、非正規雇用へのシフトが進んでいる。

	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者数の減少が見られない。
	民間職業紹介機関（職員）	雇用形態の様子	・安定した消費者となるはずの常用正社員の採用条件レベルが依然として高いので、常用の労働者が増えない。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・年明けにピークを迎えると予測していた求人件数と採用内定数が一向に振るわず、今年度はずいぶんピークがないまま終盤を迎える見通しとなった。採用内定者数も2月中旬にやっと50%を超えた程度で、極めて危機的な状況を迎えている。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-